



紀宝町

議会だより

第 38 号

平成28年 9月 1日 発行



世界遺産の七里御浜（井田海岸）



平成28年4月～6月



- 4月 4日 第5回市町議会のあり方に関する研究会及び講演会（津市）
14日 ルート変更の会との議員懇談会
20日 三重県町村議会議長会理事会及び県施策説明会（津市）
28日 第87回紀南地区メーデー（熊野市）
5月 2日 南三重県活性化協議会総会（松阪市）
16日 国道169号線改良促進連絡協議会通常総会（熊野市）
熊野尾鷲道路建設促進期成同盟会通常総会（熊野市）
17日 議会運営委員会
18日 三重県町村議会議長会理事会（津市）
23日 環境保全対策特別委員会
30日 町村議会議長・副議長研修会（東京都）31日まで
6月 1日 近畿自動車道紀勢線（熊野市～新宮市間）
建設促進期成同盟会

- 6月 1日 通常総会（紀宝町）
2日 全員協議会
熊野川河口に橋を架ける会理事会及び総会（新宮市）
3日 熊野川河口大橋建設促進議員連盟理事会及び総会（紀宝町）
7日 地方創生まちづくり特別委員会
議会運営委員会
8日 交通安全対策協議会（紀宝町）
2016年原水爆禁止国民平和大行進出発式（紀宝町）
9日 三重県地方自治研究センター記念講演会（津市）
14日 第2回定例会・第1日目
15日 第2回定例会・第2日目
29日 熊野川改修促進期成同盟会理事会及び総会（新宮市）

6月定例会

一般質問

(要約)

新宮紀宝道路

・新宮紀宝道路について

平野 美津子 議員



議員

新宮紀宝道路について、世論はどうなっているのか
と思う、ヤフーで検索しま
したところ、「国益という
きはない民目線」という投
稿がありました。これは川
柳らしいです。全国紙に載
った川柳に目が止まったの
は、本紙まる見えリポート
の新宮紀宝道路ルート問題
を読んだからだ。誰しも感
じることは同じだ。紀宝町
鵜殿地区の住宅100軒前
後が立ち退きを迫られるよ
うなルートをなぜ、と問う
住民に国交省紀南河川国道

事務所が答えた。公共施設
や大規模工場の集積状況や
渋滞緩和効果、道路接続の
都合、整備期間、費用など
から計画路線が最適である
と。これでは住民目線が入
り込む余地がない。県内
は四日市公害から避難した
住民が多く住む、第一種住
居地域を横切って北勢バイ
パスのルートを設定して、
住民の反対運動が起きた。
伊勢自動車道の久居く勢和
多気間では、県農林水産部
がカンカンになった。圃場
整備事業の前、県道路建設
課にルート回避の用意を打

診したら自由に進めてくれ
といわれた。一年後のルー
ト決定では、できあがった
ばかりの圃場のど真ん中を
通っていた。国のルート設
定に、県からどうこうは言
えないというのが当時の担
当参事の回答である。西田
健紀宝町長が国の決めたル
ートに対し、町からここに
してくれとは言えないとい
うのとそっくりである。上
位下達の国と地方との関係
も少数住民に犠牲を強いる
公共事業の仕組みも30年来、
変わらない。住民説明会で
の提案が、のれんに腕押し。

熊野川河口部には新熊野
大橋と旧熊野大橋の2本の
橋がございますが、従来か
ら、日常的に交通渋滞が発
生し、救急患者搬送などの
医療面や、経済、産業、観光、
防災など様々な面で私たち
の生活に大きな影響を与え
てきました。また、平成23
年9月には、紀伊半島大水
害により熊野川が氾濫し、

企画調整課長

木で鼻をくくった回答も不
変である。道路計画に住民
説明会の開催は義務づけら
れているが、意見に対応す
る義務はない。住民側に立
つ町議が建設自体に反対し
ていると勘違いする人も多
い。多数派の視線を意識さ
せられる社会は、江戸時代
からである。国の決めたル
ートに対し、町からここに
してくれとは言えないと西
田町長。国の言うことに従
うだけなら、町長や町議会
はいらない。翁長知事を見
て、何も思わないのかって
いう記事の内容でした。私
も同感です。紀宝町の将来
のビジョンをどのように考
え、要望されたのか、詳細
に説明してください。

新・旧熊野大橋が通行できなくなり、紀南地域全体が、

議員

ちょっと待ってください。

私がここでお聞きしているのは、ビジョンを聞いています。将来、ここがどのように活性化していくのか、みんなに住めるようになるのかというビジョンを聞いています。今までの経過は聞いておりません。何遍も聞きましたので、よろしくお願いします。

企画調整課長

ビジョンにつなげてくための回答を申し上げております。

議員

時間が足りません。ここを通せば地域がどう変わり、みんながたくさん住めて、人口を増やすために、どのように計画されたのかについていうことをお聞きしています。

企画調整課長

これまでも10年以上に渡る、住民団体の活動、皆様からの署名にはじまり、行政・議会・住民団体の協働による関係機関への地道な要望活動、決起大会の開催

による機運の高まり、アンケート調査による住民の意識調査結果などを踏まえて、国が南海トラフを震源とする巨大地震などの災害の防災対策、救急医療、地域経済などを考慮し、現在の新宮紀宝道路になっていると認識しております。新宮紀宝道路はやがて、紀伊半島を一周する高速道路網の一部を担う道路となります。

1分1秒を争う重篤な患者など、移動時間の短縮により救急搬送が高速化し、さらに病院間連携が促進されることで、これまで以上に救うことができる命も増えることとなります。町としても、道路の整備にあわせて、総合計画におけるまちづくりの基本目標であります、安全・安心で快適に暮らせる町づくり、自然の恵みを生かした、賑わいある産業・交流のまちづくりのさらなる実現を図るべく、取り組みを進めてまいりたいと考えているところでございます。

議員

ご説明いただいたのでは、医療ということがかなり重

く考えられています。医療センターとか、田辺の病院とか、そういった話だと思います。その前にやるべきことがあると思います。医療だったら、紀南病院を充実させ、皆で安心してかかる病院にしていける。それはやはりこの地域の私達、議員もそうですし、市町の責任であると思います。高速道路がそのために必要だというのはおかしいと思います。それに今、災害対策

もいつも話に出ています。国交省の技術者が模索していた熊野川、北松杖のルートだったら橋の長さも3分の1ぐらいになると思っています。地元で暮らしている私達がやはりどうするかを考えた時には、すぐに紀南病院へ道がつき、すぐに行ける地域づくりをすることが大切であります。人口が少なくなっているのに、百軒も立ち退かすところを設定する。そのこと事態に、おかしいと皆さん思わないんですか。

※この他に「就労支援事業について」「社会福祉協議会

の事業について」「学童保育所について」「ゼロ歳児保育について」「矢渕中学校の新築計画について」の質問がありました。



向井 健雅 議員

・新宮紀宝道路の推進について

新宮紀宝道路

議員

新宮紀宝道路の推進については、紀宝町議会といたしましても、反対が2名いるなかで、早期完成ということを決議をさせていただきます。以前に

は民間団体の現ルートに関する賛成ということで署名活動がなされました。それについては私も賛同し、協力をしてきたところでございます。そこで、国において決定された予算の中身と今後、完成に向けての予定についてを質問をいたします。

産業基盤整備担当理事

国において決定された予算の中身でございますが、4月26日に国土交通省から発表されました平成28年度当初予算によりますと、三重県側は3億2300万円、この内訳としましては、主に測量設計費となっており、和歌山県側は3億7700万円、測量設計



費、及び工事費となっております。測量設計費の内容としては、道路詳細設計、橋梁詳細設計、用地調査等を進める予定というふうにお伺いをしていただいております。完成に向けての予定につきましては、道路予備設計が完了しましたことから、幅杭打設、用地補償にかかる物件調査、用地補償、工事着手と進め、事業化から概ね10年後の完成、供用を目指してまいりたいと国の方からは伺っているところでございます。

議員

用地幅杭については、今年の3月中にやるということで、当初聞いておりましたが、ここでやっと日にちも決まり、安堵の感をいたしております。それについて町長の見解をお聞きしたいと存じます。

町長

ようやく3年を経て、今回道路設計が完了したということでございます。当初、25年度事業化から、調査を始められて、そして26年に道路計画の概要が発表ありまして、そのなかでボーリング調査等の結果によって、若干その道路

計画が変わったというようなこともございまして、少し延びてしまったわけでありま

す。その間、私達にはその地域住民の皆さん方のご意見を十分に拝聴をしていきたいということ、3組の皆さん方等を中心にして、いろんなご意見を拝聴させていただいて、それらもしっかりと国の方に届けているところでございまして、それらも全てというかたちにはいきませんけれども、国の許す範囲のなかで、ご配慮いただけるようにお願いをして、今回出来てきたということでございます。事業実施に向けて、工事の着手に向けて、これからまた、なお一層議会の皆さんにもご支援を賜れば大変ありがたいというふうに思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

議員

道路整備にかかる周辺整備、代替地等の考え方についてをお聞きたいと思

企画調整課長

町では、近畿自動車道紀勢線延伸をすみやかに推進し、地域の発展、かつ災害に強い町を構築して、住民が安心し

て安全に暮らせるまちの実現を図るため、部内におきまして、各課が連携しながら様々な取り組みの検討を進めてお

るところでございます。まちづくりを担当します企画調整課としましては、道路が整備されますと、これまで以上にたくさんの方が当地域を通過することになりますので、これを契機として捉え、ぜひとも紀宝町の地に降りていただきたいという思いのなかで、様々な方策を現在検討しております。そのため、インターチェンジ周辺で、気軽に立ち寄っていただいて、旅の疲れを癒していただく、そして地元産品の販売など地域経済の発展に繋がる、そんな施設整備ができるかと考えているところでございます。その施設を核として、周辺にありま

す矢洲の遊歩道や三反帆の川船、またウミガメ公園、田代公園、相野谷川など既存の観光資源を活かしながら、賑わいと交流を創出してまいりたいと考えているところでございます。また議員ご指摘の景観、お寺、地域住民の住宅を考慮し、特に景観等につきましては、産業建設課とも相

産業基盤整備担当理事

談・連携を図るなかで、景観に配慮した道路設計等にしていきたいということで、進めていければと考えております。現在、町有地で代替地として利用できる場所がないかと、何区画造成できるか等を部内において検討させていただいているところでございます。町といたしましても、できる限り、ご希望に添えるように努力をしてみたいと考えております。



議員

周辺整備等を、これから細部に渡って、検討あるいは努力をしていただきたいと思います。これまで民間を合わせた努力のなかで、こういう結果になったわけでござい



原 章二 議員

・マイナンバー制度について
・特別養護老人ホーム
・宝寿園の移転計画について

他

マイナンバー制度

議員

今年から実施されたマイナンバー制度について、新聞報道では様々なトラブルが発生していると報じられています。特に、マイナンバーカードの発行が遅れていると報じられています。宝寿園における発行状況はどうなっていますか。

住民サービス担当理事

紀宝町では昨年10月から累計で539件が申請され、人

口の4.7%が申請され、5月末までに353枚が発行されています。発行率は65.49%となっています。

議員

国はこの制度の実施にあたり、2000億円という巨額の費用を出しているわけですが、宝寿園としての総支出額はどのくらいになっていますか。また今後の使用額についてお聞きします。

住民サービス担当理事

平成26年度では1656万円かかり、国からの国庫補助は1532万7千円になります。27年度は3603万7千円、28年度は1017万8千円の予算計上をしております。国庫補助が211万円で、システム改修費となっています。

議員

運転免許証やパスポートなどを保持していないお年寄りから、個人カードを作らないといけないのかという声が聞かれます。

住民サービス担当理事

同じ質問を役場でもいただいております。役場では、現在必要としますマイナンバー

カードのご利用はありますかとお聞きをし、説明をさせていただいております。最終的にはほとんどの方に、マイナンバーカードを作る必要が現在ございますね、通知カードを大切に保管してくださいとご案内をさせていただいております。

議員

役所間のやり取りをする中間サーバーは全国で2カ所だけです。ここがサイバー攻撃を受ければ大量の個人情報が一瞬にして漏えいするわけです。人間がつくる運用システムは100%安全ではないので、ナンバーについても本人の要望があれば定期的に変更し、さらに最終的には中止することを申し述べておきます。

宝寿園の移転

議員

宝寿園は建築後、相当年数が経っており入居者の家族、園で働くひとからも交通の利便性、災害時のリスクなどの理由で町内での安全安心な場所への建て替えの要望があり

ますが、今後の計画はどうなっていますか。

健康福祉担当理事

宝寿園は旧館で43年、新館で25年です。昭和48年建築の旧館は平成23年の耐震診断で耐震補強の工事の必要性はないという結果がでています。移転計画については現在のところないと聞いています。今後、中長期的な視点で構成市町と検討してまいりたいと考えております。

議員

今後予測される南海トラフ大地震、さらには気象状況の変化・災害のリスクが大きいところが宝寿園と亀楽苑と

います。特に宝寿園は道路寸断で孤立するおそれがあります。今後、総合的に特別養護老人ホームを見直してもらいたい。

深田グラウンドの改修工事

議員

深田グラウンドは災害後、グリーントップという特殊な土を使用し、水はけ・防塵対策などを考慮しながら完成したわけですが、関係者からは擦過傷やユニフォームの破損な



どが言われています。このようなことは予測されなかったのですか。

教育課長

深田運動場は、水はけ・砂埃対策として現在の表土を採用しました。先程のご意見も伺っています。

議員

子どもたちの安全面を確保するため、墨間、ピッチャーマウンド、ホームベース部分をアンツウカーなどの使用し安全性を確保すべきではないですか。

教育課長

専門家にこの対策についてお聞きしましたところ、粒子の細かな浜土をいれますと改善がはかれる一方、排水性が低下するとのことでした。今後、近隣の皆様にも相談して検討してまいります

相野川堤防高上 と除草作業

議員

大里地内を流れる相野川の堤防が相野谷川堤防と比べて低くなっているため、過去に

何回か地区内へ越水して浸水被害を被ってきました。原因は大雨が降った場合、相野谷川より相野川の流量が小さく、通称「出会い」付近で堰止め現象が起き流れない。このため上流からの水量の増加で越水します。是非堤防の嵩上げを要望します。

産業基盤整備担当理事

相野川は県管理でございます。県では現在、嵩上げ等については行う予定はないとのことでございます。今後町でも確認を行うなかで、県にお願いしてまいりたいと思います。

議員

相野川上流（井内地域）で水稻を耕作している方が、堤防・法面をきれいに除草していただいています。本来県がすべきではないのですか。耕作者に甘えているのではないのですか。

産業基盤整備担当理事

県において河川ボランティア事業がございますので、今後は県・町で沿線農家の方にもPRをしていくとともに、県にも再度要望してまいります。

跡田川通学路 安全防護ネット

議員

この件については今までも質問してきました。平成27年度には設置予定となっていました。が、実現されていません。県は、どのような対応をしているのですか。

産業基盤整備担当理事

跡田川の安全対策として町が実施主体となつて協議を進めておりましたが、設置箇所が河川法工作物設置許可基準により、道路交通のための附属物については最小限にとどめることとされてまして、当堤防では亀裂が入りやすく堤防の弱体化のおそれがあるとして協議が難航しているところがあります。

議員

地域には2世帯で小学生がいます。卒業するのを待っているのですか。本当に危ないんです。子どもの命を守ることを念頭に、まじめに考えていただきたい。





萩野 進也 議員

・果樹（柑橘類）

振興対策について

- ・小僧ノ上地区にある町有地の有効活用について

果樹（柑橘類）振興対策

魅力ある農業、紀宝町の柑橘振興は今後どのような姿であるべきか。

・後継者対策

議員

日本の農業は今、国内的にも世界的にも大変厳しい状況下にあります。紀宝町の農業においても、いろいろな問題を抱え、大変厳しい中、皆さん頑張っています。紀宝町の農業は稲作と柑橘類がほとん

ど占めます。平成27年の資料によりますと、紀宝町全体の農業者は194名。そのうち稲作は106名（55%）。柑橘類は78名（40%）。合わせて95%を稲作と柑橘類で占めます。そのような状況の下、柑橘類の生産量については5年間ほぼ横ばいで、売上額は約15億円です。柑橘生産者の平均年齢はおおよそ65歳であり、5年後、10年後のことを考えた場合、後継者や新規就農者があとに続かなければ、平均年齢が上がっていくだけで、やがては柑橘農家の崩壊につながっていくと思われるます。そのようにならないためにも、柑橘作りが魅力あるものでなければなりません。柑橘の収入で、子どもを一番上の学校までやれるような柑橘農業でなければ、若者にとつて魅力ある柑橘農業とはいえないと思います。そこで町の柑橘支援対策についてお伺いいたしますが、国・県の対策と合わせてお願いいたします。

産業建設課参事

新規就農者を確保していくための施策としまして、熊野市、御浜町、紀宝町等で構成

される三重南紀元気な里創生プロジェクト協議会の発足や、各地開催の就農フェアで就農相談を行っております。新規就農者に対しましては青年就農給付金等の補助を行っており、また町単独の施策としましては、国の支援策に該当にならない農業者に対しては、紀宝町農林漁業支援金で支援を行っています。

・荒れ地対策

議員

生産者が高齢になり、荒れ地になっているところがあります。荒れ地が増えていくことは、間違いないと思います。例えば荒れ地の活用を考えたとき、イターン者やUターン者を募り、就農を進めていくことで、空き家対策にもつながっていくことになると思います。後継者対策、荒れ地対策、将来の展望、全てに関連していることだと思います。荒れ地対策に取り組むことは、後継者対策につながり、将来の展望を担うことができるようになるのではありませんか。そして、柑橘専属職員の設置はできませんか。

産業建設課参事

農地所有者は、遊休農地の活用を農地中間管理機構へ意思報告せず、また耕作の再開もない場合などは、農業委員会から所有者に対し、同管理機構との協議勧告を行い、固定資産税の課税強化対象となります。そして、現在の町におきまして専従で置くことは厳しい状況でございます。

・将来の展望

議員

近年、若手の農業者のなかには、独自の販売ルートを開拓し、頑張っているやる気まんまんの若者も少なからずございます。しかし、個人個人で頑張るにしても限界があります。販路の開拓や拡大について、町として多方面からの支援を是非ともよろしくお願いいたします。

小僧ノ上地区町有地の有効活用

議員

井田小僧ノ上地区にある町有地の有効活用について質問いたします。平成27年8月、

井田の3地区の自主防災会から、「小僧ノ上町有地整備要望」がだされました。3項目について要望があり、回答をいただいたところでございますが、多目的公園としての活用はいかがでしょうか。

総務担当理事

小僧ノ上地区にある町有地については、平成17年に井田神社の北側に位置する土地をご寄付いただきました。面積は、実測面積として15269㎡、約4627坪とさせていただきます。昨年、平成27年8月6日になりますが、井田地区の3つの自主防災会より、小僧ノ上の町有地整備について要望書が提出され、多目的公園としての利用等についてご要望をいただき、その回答をさせていただいているところでございます。今後の有効活用につきましては、地域振興などの利用目的を主に進めさせていただきたいと考えております。住民の皆様にも有効的にご利用いただくための整備等について、今後十分に検討してまいりたいと考えています。

議員

井田地区は元々公園が少な



いところ。それというの
も、井田海岸、すなわち井田
の浜が公園の役割を担い、住
民の憩いの場となり、地区の
運動会とか、子供達はソフト
ボール、そして野球などを楽
しんでいた場所でした。しか
し昭和の終わり頃から平成に
かけて、海岸の浸食が一段と
酷くなり、今では全くと言っ
ていいほど、昔の面影は残っ
ていません。子ども達や、ま
た親子で遊ぶことができる浜
は全く無くなってしまい、井
田の浜が遊び場としては危険
な場所になってしまいました
た。そのような中で、野外で
の子育ての場所、また軽スポ
ーツやレクリエーションの憩い
の場所として、小僧ノ上の町

有地を整備していただけない
でしょうか。あの土地を寄付
していただいた方のご意向を
ご存じでしょうか。その方が
いわれてましたのは、「住民
の皆さんの憩いの場として活
用してください。」だったと
私は記憶しています。以上の
ことを踏まえて、改めて小僧
ノ上の町有地を町民憩いの場
として、整備していただけな
いでしょうか。

総務担当理事
地域振興などの利用を目的
に、今後進めていきたいと考
えております。

議員
今後とも前向きにご検討い
ただきますよう、よろしくお
願いたします。

議員
今後とも前向きにご検討い
ただきますよう、よろしくお
願いたします。



山本 精一 議員

・近畿自動車道紀勢線
(新宮紀宝道路)について

新宮紀宝道路

議員

新宮紀宝道路を推進する会
により、早期完成を求める署
名活動が行われ、9800人
余りの方から署名をいただき
ました。私は新宮紀宝道路が
防災・医療・地域活性化・交
通渋滞に対し大きな効果があ
ると信じ、署名活動に参加し
ました。活動に参加した議員
として、一般質問や議会だよ
り等で説明責任を果たしてい
きます。インターチェンジを
利用した地域活性化策につい

てお伺いします。

企画調整課長

紀伊半島一周が高速道路で
結ばれますと、観光客数、流
入人口の増加等が期待されま
す。インターチェンジ周辺で
気軽に立ち寄り、旅の疲れを
癒し、地元産品の販売等、町
中のオアシスのような施設の
整備ができないかと検討して
います。

議員

公園等を併設し、小さなス
テージで地元のフラダンス愛
好会等に利用していただくな
ど、最初は10人でも、皆さん
に様々なことを知ってもら
うことによって参加者が段々増
え、その方々が施設をさらに
利用し、賑わうことが町の魅
力創出に繋がると思います
が。

町長

町を盛り上げる一番の根本
は、郷土を思う気持ち、い
かにつくり上げていくか、醸
成していくかだと思います。
子供から高齢者まで、多くの
方が参加できるイベント等、
様々な形を通じて町の良さを
認識し、町民一丸となって、
町に対する愛着と誇りを町外
に向けてPRし、町の存在価

値を高めて行きたいと考えて
おります。

議員

防災対策上のインターチェ
ンジの活用方法をお伺いしま
す。

特別参与

新宮紀宝道路は、津波想定
高を十分に考慮した道路高に
していただけるということ
でございます。地元の津波避難
訓練では、鵜殿城址や梅林公
園を一時避難場所としており
ますが、道路も一時避難場所
として利用できるよう、地元
自主防災組織から要望もいた
だいております。

議員

私が道路建設を急がせる理
由は、津波被害が想定される
中、完成が遅れるほど、その
期間に命の危険にさらされる
と考えます。道路高は津波を
十分考慮しており、国がお金
を出してくれると言うのなら、
今乗るべきです。知り合
いの新宮市議会議員による
と、市議会では反対がなく、
市民も私と同じく、津波を考
えインターを早くつくって欲
しいということです。新宮市
議会と紀宝町議会が合同で、
国土交通省へ大規模な要望活

動を行ったらいかがですか。

私も署名活動の訪問先で様々な話を伺いましたが、地震・津波対策・渋滞緩和策として道路が必要だという意見を多くいただきました。医療センターや他病院へ搬送する時間が命の分かれ目です。9800人は紀宝町議会や町に思いを託したのです。私は推進議員ですから、皆さんの声を町や国土交通省にも伝えるために、一般質問をしています。町長、さらに強い要望活動をお願いします。

町長

要望活動については、河口大橋のなかで両議会の代表の方2名ずつ入っていただき、要望活動に取り組んでいただいております。また新宮市、紀宝町、御浜町、那智勝浦町、太地町を含めて、紀伊半島を一周する道路とつながっていきますので、この歩みを止めることがあってはならないと私は思っています。新宮市と力を合わせ、要望活動を続けてまいります。

議員

インターチェンジ利用による救急医療への効果をお伺いします。

健康福祉担当理事

救急車の出勤から医療機関へ搬送する時間は、熊野管内では48分となり、三重県の平均が38分でありますので、約10分間多くかかる状況でございいます。インターチェンジの利用は、時間短縮、搬送者の負担軽減、医療機関との連携強化につながっていくと考えております。

議員

署名活動の中で、もっと早く病院に着いていれば助かった事例を多く聞いています。町内で亡くなる方は、年150人前後で、半数が救急車を利用しています。道路があれば、早期治療を受け、命を救えた人もいるはずです。皆さんには、それが身内だったらと考えて欲しい。私は町全体のことを考え、推進に賛成しました。町も住民を家族と想って欲しいのです。

町長

子どもや孫達の将来のために、社会資本整備は私達の努めだと思えます。皆さんと知恵を出し、頑張ってまいりたいと思います。

議員

インターチェンジや道路か

ら神社の幟等が見えれば、参拝者が増えると思います。寺についてもインターチェンジの利用が便利です。9800人の署名からも、檀家の皆さんはほとんど賛成だと思えます。今後は、鵜殿のインターチェンジを利用していただく方策を考えていかなければなりません。そのためには地元で活動する鵜殿青年会等の力も借り、議会と町も一体となり、町づくりを皆さんと考えていく必要があると思います。最後に、一刻も早い新宮紀宝道路の着工・完成を望みます。



榎本 健治 議員

・新宮紀宝道路早期着工について

新宮紀宝道路 早期着工

議員

河口大橋を含めた新宮紀宝道路について、現在の進捗状況を教えていただきましたと思います。

産業基盤整備担当理事

地元説明会を開催するなか、路線測量など、各種調査を行い、道路予備設計を行ってまいりました。今回、道路予備設計が完了したことから、6月27日、29日に、町内で道路設計・幅杭打設

の地元説明会が開催される予定となっております。説明会が終わりますと、幅杭打設、用地補償にかかる物件調査、用地補償、工事着手となり、完成まで概ね10年前後として、平成35年の完成・供用を目指して、現在、進めていくとお伺いしています。

議員

鵜殿村時代から歴史があり、昭和14年に河口大橋の建設を国に陳情して、国が工事に着手したという事実がございます。しかし、戦争が始まり中断した経緯もございます。昭和42年には、梶尾鵜殿村長が河口大橋を有料道路でという発表もございました。しかし当時の状況のなかでは実現できなかったようです。また昭和43年には、現大橋の全面改修と河口付近への第2大橋を架橋して欲しいという意見書を鵜殿村議会でも採択をしております。そのときの思いを我々が受け継いで、そして次世代にバトンタッチをして行かなくてはいいけないと思います。平成27年度予算は4億円でしたが、

平成28年度の予算状況はどのようなになっていますか。

産業基盤整備担当理事

平成28年度の予算状況は、4月26日に国土交通省から発表されました予算内訳によりますと、三重県側は3億2300万円、和歌山県側は3億7700万円です。

議員 周辺地域整備として、インターができた時に、どのような町づくりをしていくのか。インターができたけれども、素通りされていくような状況ではあつてはならないと思います。この地域にお金が落ちる仕組み、そして活性化できる仕組みを、道路と並行して考えていく必要があります。それが一番重要などころではないかと思えます。茨城県圏央道・IC周辺には農業生産エリアや、加工業のエリア、農産物販売所などを集積し、生産と加工、そして販売と流通が一体になった開発計画を策定し、アグリサイエンスバレー構想のなかで、農業との融合による食を中心とした内需産業の集積地として、直売所もつくり、外貨を稼いでいこうという

議員

機能回復のなかで、一番の懸念が排水路の問題であると思えます。山からの水を懸念されている住民の方もいますので、この排水路の関係については雨水であったり、生活排水であったり、さらに機能を向上させたような排水路にしていた

産業基盤整備担当理事

これまでに意見交換会等で

構想を上げてございます。当町としても同時進行で、こういった構想を考えていく必要があるのではないかと

企画調整課長

新宮紀宝道路が今後整備されますと、これまで以上にたくさんの方が当地域を通過すると考えられます。当地域に降りていただけるように、インターチェンジ

議員 周辺で気軽に立ち寄っていただき、旅の疲れを癒していただくような施設整備ができないか等、課題限定するなかで考えているところでございます。

議員

今回をチャンスと捉えて、攻めの新宮紀宝道路、そしてインターチェンジになるようにと願っておりますが、町長の考えをお伺いいたします。

町長

これから高規格道路をいかに活用し、地域の活性化を図っていくことは、私達の地域にとっても一番の課題であると思えます。インターがあるというのは非常に大きく、議員ご指摘の強み

を鶴殿地区、あるいは神内地区に活かしながら、皆さん方のお知恵を拝借して、生き残りをかけて取り組んでいく必要があると思えます。また将来的にはつながっていく紀伊半島一周道路の有効活用に向けて、思いを馳せていきたいというふうに思っています。

議員

積極的に予算をかけて進めていただきたいと思えます。

町長

ご指摘いただきましたことについて、前向きにしっかりと取り組んでまいりたいと思えます。

議員

この河口大橋をチャンスと捉えて、一日も早い着工・完成、そして開通に向けて、町が一丸となって出来るような体制を私は整えていく必要があると思えます。平成15年に、架け橋虹の会を立ち上げて、住民と一丸となって、約13年の要望活動が実り、ようやく進んできた新宮紀宝道路です。ここで決して歩みを止めることなく、22世紀を生きて行く

子ども達に、この道があつて良かったと。言っていただけのような道づくりをする、それが我々の使命だと思っております。私は親孝行の道ということで、都会に出てった子ども達が、月に一度、二度帰ってこれるような道になっていただきたいと願っております。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomotokenji.com/ipan.htm>)



【義援金を送金しました】

平成28年熊本地震により被災された皆様に、改めて心よりお見舞い申し上げます。

紀宝町議会では、熊本地震で甚大な被害を受けた被災地に対し、日本赤十字社を通して、義援金20万を送金しました。被災地の一刻も早い復旧をお祈り申し上げます。



本会議では、町民の皆様の生活に関わる重要な問題について、熱い議論が交わされています。
町政への理解を深めていただくためにも、皆様の傍聴をお待ちしております。

■本会議の傍聴

本会議の議事の公開の原則により、会議中どなたでも傍聴できます。

■傍聴の手続き

役場本庁舎3階の議会事務局で受付を行ってください。
先着順により受け付けています。傍聴席の定員は40席です。

お気軽に
見に来てね。



※傍聴される方は、議場入口に掲示しております傍聴規則をお守りいただきますよう、お願い致します。

●お問い合わせは紀宝町議会事務局まで（☎0735-33-0342）

本議会を傍聴してみませんか。

次回定例会の予定

9月13日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

議会生中継について

公共施設5ヶ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
 - ② 生涯学習センターまなびの郷
 - ③ 福祉センター（鶴殿）
 - ④ 保健センター（神内）
 - ⑤ 相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、
◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓
「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（6月）

- 専決処分の承認について
 - ・ 紀宝町税条例の一部改正
 - ・ 紀宝町国民健康保険税条例の一部改正
 - ・ 紀宝町固定資産評価審査委員会条例の一部改正
- 紀宝町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- 紀宝町立幼稚園条例の一部改正について
- 紀宝町道路線認定
- 平成28年度一般会計補正予算

決議（6月）

- 安心できる地域医療体制の整備と産婦人科医師の早期確保を求める決議

編集後記

この議会だよりが届く頃は、残暑厳しき折とお見舞い申し上げます。万緑の奈良を訪れる機会を頂きました。控えめに建つ室生寺五重塔。四季折々の風景と調和して、いつ訪れても美しいと言われます。そして十一面観音。大変失礼ですが、ふつくらとして可愛げのあるお顔立ちであります。白洲正子さんの『十一面観音巡礼』という本の中に、熊野詣の記述があります。那智の山中で最古の作とされる白鳳時代の十一面観音が見つかりました。いつ誰がどのようにして、と想像しても私などは到底及びません。熊野は神話と仏教説話が複雑に入り交じります。滝や巨岩の自然信仰、最古の十一面観音の観音信仰、熊野曼荼羅に見られる古代の水葬など「気が遠くなるような歴史に私は打ちのめされる」と本に書かれています。歴史の紐を解いてみると、地方創生のヒントがあるような気がいたします。（文責 塩野）

「議会だより」（38号）

編集委員 向井 健雅

大前 森重

塩野 真